

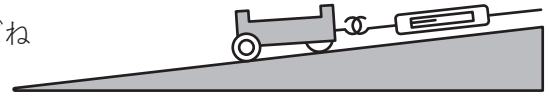
力がはたらく運動

2 斜面を下る台車の運動の実験 ()に適当な数字を入れるか、または選びなさい。

【実験1】

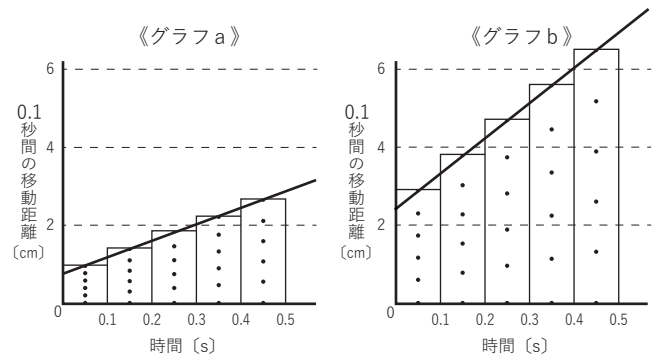
右図のように、台車にはたらく斜面に平行な方向の力の大きさを、『傾きが大きい斜面A』と『傾きが小さい斜面B』で、ばねばかりでそれぞれ測定した。

《図》



【実験2】

台車にテープをつけ、1秒間に50打点する記録タイマーで、台車が斜面A、Bを下る運動の様子を記録したテープを0.1秒ごとに切って、グラフa・bのように台紙にはりつけた。



- (1) 実験1で、ばねばかりが大きな値を示すのは、斜面 (**A**)・B) である。
- (2) 実験2のグラフa、bのように、斜面を下る台車の運動は、速さが (**増加**)・減少) する運動である。
- (3) 実験2で、グラフaは、斜面 (A)・ (**B**) を下る台車の運動を表している。
- (4) 実験2のグラフbで、0.1秒から0.2秒の区間のテープの長さが3.8cmであったとき、この区間の平均の速さは (**38**) cm/sである。